

「外国人介護職の活躍と活用について考える」

～外国人の地域力創造とキャリアパスの視点より～

日時

平成28年12月17日(土)

14:30～16:30 (受付:14:00)

場所

山形ビッグウイング (参加費無料)

対象

医療・福祉・介護分野に関わる外国人の方、それに関係する日本人の方、本セミナーに関心のある方など

講演

第1部:「外国人活用による地域力創造について」

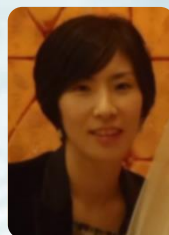
講師:毛受敏浩(めんじゅ としひろ)氏



第2部:「山形県の外国人介護職のキャリアパスと地域参画を考える」

講師:李 惠珍(イ・ヘジン)氏

毛受敏浩(めんじゅ としひろ)氏
(公財)日本国際交流センター 執行理事。草の根の国際交流、国際協力に長年携わり、国際交流の視点から多文化共生について提言。現、自治体国際交流総務大臣表彰選考委員。新宿区多文化共生まちづくり会議会長等。慶応大学、米国ワシントン州立エバグリーン大学院卒。慶応大学で非常勤講師を歴任。近著に『自治体がひらく日本の移民政策』。



李 惠珍(イ・ヘジン)氏
(公財)日本国際交流センター プログラム・オフィサー。社会学博士。2013年に一橋大学大学院社会学研究科修了後、一橋大学社会学研究科技術研究員、お茶の水女子大学特任リサーチ・フェローを経て2014年より現職。2014年4月より法政大学比較経済研究所兼任研究員も務める。